

この制度で多くの方が夢を実現しています！



矢川 誠 さん (仮名)
[64歳・無職]
埼玉県所沢市 → 長野県小諸市

ケース① 自然豊かな土地で野菜づくりをしています

所沢の3LDKのマンションを
受取家賃7万2250円で貸す

↓
小諸の中古住宅を760万円で購入

資金計画 そのうち760万円を
JTIの提携ローンで借りる
返済額：月々約7万700円
返済期間：約10年間

矢川さんは定年を機に、埼玉の自宅マンションをJTIで貸して長野県小諸市に移住。長年夢だった野菜づくりを楽しんでいます。JTIからの受取家賃は7万2250円。近くの畑を格安で借りられる中古住宅を、JTIの提携ローンを利用して760万円で購入し、月々7万700円の返済で約10年で完済する計画です。日々土と戯れながら、健康な毎日を送っているそうです。



山本貴史 さん (仮名)
[61歳・自営業]
東京都杉並区 → 岡山県倉敷市

ケース② 夢だったコーヒーの店を夫婦ではじめました

杉並の一戸建てを
受取家賃10万2000円で貸す

↓
倉敷の店舗付き中古住宅を
3500万円で購入

資金計画 そのうち1500万円を
JTIの提携ローンで借りる
返済額：月々約9万8000円
返済期間：約15年間

カフェを開くのが夢だったという山本さん夫妻。奥さまは自宅でお菓子教室を開くほどの腕前でした。ご主人の定年を機に、奥さまの実家近くに店舗付き中古住宅を3500万円で購入。杉並の自宅はJTIで貸して受取家賃は10万2000円。退職金等で2000万円を支払い、残りはJTIの提携ローンで、15年完済の計画です。カフェの常連客も少しずつ増えてきているとか。



田中洋一 さん (仮名)
[67歳・無職]
東京都江東区 → 佐賀県唐津市

ケース③ 地元に戻って親の介護に専念しています

江東区の一戸建てを
受取家賃8万5000円で貸す

↓
唐津の中古住宅を1500万円で購入

資金計画 全額自己資金でまかない、
受取家賃8万5000円は
生活費の足しに。

一人暮らしの母親が要介護の状況になり、仕事もひと段落した田中さんは、地元へ戻ることに。古い実家はバリアフリーとはほど遠い環境のため、病院にも通いやすい中古住宅を1500万円で購入。購入資金は父の遺産等でまかない、江東区の自宅はJTIで貸して受取家賃8万5000円を生活費や介護費に充てています。将来は東京に戻る可能性も考えているといいます。

*提携ローンの月々の返済額や返済年数は、融資実行時の適用金利などによって変わります。

資料請求先 (株)メイク・ヴィー「年金疎開」係 ☎03-3239-2570 〒102-0073 東京都千代田区九段北1-9-5-906

JTIの「マイホーム借上げ制度」で移住・住みかえを実現！



斉藤道生 さん
[一般社団法人 移住・住みかえ支援機構 副代表理事]

持ち家を有効活用して 家賃収入で賢く年金疎開

「年金疎開」を実現させるためには、移住・住みかえ支援機構(JTI)の「マイホーム借上げ制度」を利用することをおすすめします。国の基金が支えるこの制度を利用して、すでに多くの方が移住を実現。ここでは、JTIの副代表理事の斉藤道生さんにお話を伺いました。

50歳以上を対象に
マイホームを借上げ
家賃収入を保証

マイホームを貸す
[資産運用]



安定した家賃収入
(JTIの家賃保証)



好きな場所に住む
[年金疎開]

一般社団法人「移住・住みかえ支援機構(JTI)」は、2006年に国土交通省の依頼を受けて設立されました。高齢者の方を対象に、持ち家を資産運用のお手伝いをするのが目的で、その柱が「マイホーム借上げ制度」です。この制度を活用すれば、自宅を売却することなく、住みかえや老後の資金として活用できるのです。マイホームを人に貸すことに抵抗がある人は少なくありません。家賃滞納、近隣とのトラブル、居座り、あげくの果ては多額の裁判費用が必要になるケースも耳にします。「マイホーム借

上げ制度」は、そうした心配がいったいありません。あくまで、当機構が借上げ、転貸しするシステムだからです。さらに、借り手がつかない場合でも、最低賃料を保証し、最長で終身まで借上げます。終身といっても、当機構が借り手側とかわすのは3年単位の定期借家契約です。そのタイミングであれば、いつでも制度利用を中止して、マイホームに戻ることが可能です。人生85年時代を豊かに過ごすためにマイホームを活用

マイホームを貸したい人のメリット

- マイホームを手放すことなく、新たな家に住める。
- 最長、終身借上げなので、空室リスクがなく、安定した家賃収入を保証。
- 入居者との契約期間が3年単位なので、マイホームに戻ること可能。
- メンテナンス費用を、家賃収入でまかなえる。

かが問われる時代になってきています。そこで、見直してほしいのが自分の財産(マイホーム)です。当機構の制度を利用して得られる長期安定した家賃収入を活用して、長い長い第二の人生を、より豊かなものにしていただけたらと思っています。